平成18年3月期 個別財務諸表の概要

上場会社名 株式会社 クレスコ

コード番号 4674

(URL http://www.cresco.co.jp/)

表 者 役職名 代表取締役社長 代 問合せ先責任者 役職名 取締役経理部長

決算取締役会開催日 平成18年4月24日

配当支払開始予定日 平成18年6月23日 単元株制度採用の有無 有(1単元100株)

平成18年4月24日 上場取引所 車 本社所在都道府県 東京都



TEL (03)5769-8011

中間配当制度の有無 有

定時株主総会開催日 平成18年6月22日

1.18年3月期の業績(平成17年4月1日~平成18年3月31日)

(1)経営成績

(百万円未満切捨)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %
18年3月期	10,207 (2.4)	481 (5.2)	796 (4.3)
17年3月期	9,965 (2.2)	507 (49.1)	763 (52.3)

氏名 岩﨑 俊雄

氏名 山田 則夫

	当期純利益	1 株当たり 当期純利益	潜 在 株 式 調 整 後 1株当たり当期純利益	株 主 資 本 当期純利益率	総 資 本経常利益率	売 上 高 経常利益率
	百万円 %	円 銭	円 銭	%	%	%
18年3月期	339 (70.8)	49 85	49 64	3.3	5.6	7.8
17年3月期	1,162 (57.6)	169 95	169 78	10.9	5.0	7.7

(注) 期中平均株式数

18年3月期 6,510,132株

17年3月期 6,746,399株

会計処理の方法の変更無 売上高、営業利益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前期増減率

(2)配当状況

	1	株当たり年間配当	金	配当金総額	配当性向	株主資本
		中間	期末	(年 間)	(年間) 配当日間	
	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
18年3月期	29 00	14 00	15 00	189	58.2	1.8
17年3月期	28 00	12 50	15 50	185	16.5	1.8

(3)財政状態

	総資産	株主資本	株主資本比率	1 株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期	13,784	10,301	74.7	1,575 14
17年3月期	14,559	10,541	72.4	1,619 23

(注) 期末発行済株式数 期末自己株式数

18年3月期 18年3月期 6,530,636株 777,418株

17年3月期 17年3月期 6,500,040株 808,014株

2.19年3月期の業績予想(平成18年4月1日~平成19年3月31日)

	売 上 高	奴 労 利 共	経常利益 当期純利益 —		1 株当たり年間配当金				
	元 工 同	注 市 利 益	当规能利益	中間	期末				
	百万円	百万円	百万円	円 銭	円 銭	円 銭			
中間期	5,600	436	235	14 00	-	-			
通 期	11,600	879	474	-	15 00	29 00			

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 72円64銭

業績予想につきましては発表日現在のデータに基づき作成したものであり、予想につきましては様々な不確定要素が内在して おりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。なお、上記業績予想に関する事項は連結添付資料6ペ ージをご参照ください。

(1)貸借対照表

		前事業年度 (平成17年 3 月31日	1)	当事業年度 (平成18年 3 月31日	1)	比較増減	
区分	注記番号	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	
(資産の部)							
流動資産							
1 現金及び預金		2,519,473		1,423,389		1,096,084	
3 売掛金		2,152,873		2,217,625		64,751	
4 有価証券		47,532				47,532	
5 仕掛品		193,130		138,781		54,348	
6 前払費用		99,735		129,565		29,830	
7 未収入金		4,839		173,557		168,718	
8 繰延税金資産		201,917		153,537		48,380	
9 その他		27,222		41,287		14,065	
10 貸倒引当金		7,508				7,508	
流動資産合計		5,239,215	36.0	4,277,744	31.0	961,470	
固定資産							
1 有形固定資産							
(1) 建物	1	669,188		750,560		81,371	
(2) 工具器具備品	1	113,988		102,360		11,628	
(3) 土地		916,617		916,617			
有形固定資産合計		1,699,794	11.7	1,769,537	12.9	69,742	
2 無形固定資産							
(1) ソフトウェア		522,162		504,150		18,012	
(2) 電話加入権		8,674		8,674			
(3) 電話施設利用権		735		612		122	
無形固定資産合計		531,572	3.6	513,437	3.7	18,134	
3 投資その他の資産							
(1) 投資有価証券	2	5,870,542		5,884,684		14,141	
(2) 関係会社株式		630,944		708,444		77,500	
(3) 敷金保証金		233,155		235,369		2,214	
(4) 保険積立金		218,969		256,197		37,228	
(5) その他		180,235		176,030		4,205	
(6) 貸倒引当金		45,000		36,450		8,550	
投資その他の資産合計		7,088,847	48.7	7,224,276	52.4	135,429	
固定資産合計		9,320,214	64.0	9,507,251	69.0	187,037	
資産合計		14,559,429	100.0	13,784,996	100.0	774,433	

			前事業年度 前事業年度 17年3月31日])		当事業年度 対18年3月31日])	比較	注增減
区分	注記 番号	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額	(千円)
(負債の部)									
流動負債									
1 買掛金			776,091			789,159			13,067
2 一年以内償還予定の社債			40,000			40,000			
3 未払金			168,766			165,441			3,324
4 未払法人税等			278,436			4,405			274,031
5 未払事業所税			13,061			11,452			1,609
6 未払消費税等			33,291			63,316			30,025
7 未払費用			63,730			69,643			5,913
8 前受収益			90			2,329			2,239
9 預り金			25,652			24,331			1,321
10 賞与引当金			334,092			320,018			14,074
11 その他			32,174			17,093			15,080
流動負債合計			1,765,387	12.1		1,507,190	10.9		258,196
固定負債									
1 社債			100,000			60,000			40,000
2 退職給付引当金			427,849			487,799			59,950
3 役員退職慰労引当金			140,441			150,966			10,525
4 預り保証金			170,805			172,010			1,204
5 繰延税金負債			1,413,905			1,105,379			308,526
固定負債合計			2,253,002	15.5		1,976,156	14.4		276,846
負債合計			4,018,390	27.6		3,483,347	25.3		535,043
(資本の部)									
(貝本の品) 資本金			2,514,875	17.3		2,514,875	18.2		
資本剰余金			2,314,673	17.3		2,314,673	10.2		
資本準備金			2,998,808			2,998,808			
資本剰余金合計			2,998,808	20.6		2,998,808	21.8		
利益剰余金			2,990,000	20.0		2,990,000	21.0		
1 利益準備金			78,289			78,289			
2 任意積立金			70,203			70,209			
(1) プログラム等準備金		79,638			69,054			10,584	
(2) 特別償却準備金		10,887			7,905			2,982	
(3) 別途積立金		2,270,000	2,360,525		3,210,000	3,286,959		940,000	926,433
3 当期未処分利益		2,270,000	1,153,891		0,210,000	351,804		0.10,000	802,086
利益剰余金合計			3,592,705	24.7		3,717,053	27.0		124,347
その他有価証券評価差額金			2,505,150	17.2		2,101,049	15.2		404,100
自己株式			1,070,501	7.4		1,030,138	7.5		404,160
資本合計			10,541,039	72.4		10,301,648	74.7		239,390
負債・資本合計			14,559,429	100.0		13,784,996	100.0		774,433
AR ATUN			11,000,420	700.0		10,104,000	100.0		.,,,,,,,,

(2)損益計算書

		前事業年度 (自 平成16年4月1 至 平成17年3月31			当事業年度 (自 平成17年4月1 至 平成18年3月3			比較増減	
区分	注記 番号	金額(千円)	百分比 (%)	金額(千円)	百分比 (%)	金額(千円)
売上高			9,965,011	100.0		10,207,527	100.0		242,515
売上原価			8,514,799	85.4		8,752,782	85.7		237,983
売上総利益			1,450,212	14.6		1,454,744	14.3		4,532
販売費及び一般管理費			942,803	9.5		973,727	9.6		30,924
営業利益			507,409	5.1		481,016	4.7		26,392
営業外収益									
1 受取利息		7,609			524			7,084	
2 有価証券利息		17,494			58,444			40,949	
3 受取配当金		71,903			62,953			8,950	
4 有価証券売却益		49,813			98,008			48,195	
5 不動産賃貸収入		194,572			201,955			7,383	
6 その他		23,242	364,635	3.7	15,284	437,171	4.3	7,957	72,535
営業外費用									
1 社債利息		8,359			602			7,757	
2 不動産賃貸費用		94,030			117,838			23,808	
3 その他		5,805	108,195	1.1	3,227	121,668	1.2	2,578	13,472
経常利益			763,849	7.7		796,520	7.8		32,670
特別利益									
1 投資有価証券売却益		1,340,376			4,599			1,335,777	
2 貸倒引当金戻入益					16,058			16,058	
3 その他		552	1,340,929	13.4		20,657	0.2	552	1,320,272
特別損失									
1 固定資産除却損		69,256			8,801			60,454	
2 減損損失	1	42,450						42,450	
3 投資有価証券評価損		33,500						33,500	
4 事務所移転費用		68,077			19,796			48,281	
5 ソフトウェア開発中止損失					168,606			168,606	
6 ソフトウェア開発遅延損害賠償金					55,000			55,000	
7 その他		54,426	267,710	2.7	14,025	266,229	2.6	40,400	1,480
税引前当期純利益			1,837,068	18.4		550,947	5.4		1,286,120
法人税、住民税及び事業税		621,901			190,719			431,182	
法人税等調整額		52,595	674,497	6.7	20,669	211,388	2.1	31,926	463,108
当期純利益			1,162,571	11.7		339,558	3.3		823,012
前期繰越利益			76,275			110,706			34,431
自己株式処分差損			40			7,309			7,268
中間配当額			84,914			91,151			6,236
当期未処分利益			1,153,891			351,804			802,086

(3)利益処分案

			前事業年度 (平成17年3月期)		当事業年度 (平成18年3月期)		増減
区分	注記 番号	金額(千円)	金額(千円)		金額(千円)	
当期未処分利益			1,153,891		351,804		802,086
任意積立金取崩高							
プログラム等準備金 取崩高		10,584		21,123		10,538	
特別償却準備金 取崩高		2,982	13,566	5,054	26,177	2,072	12,611
合計			1,167,457		377,982		789,475
利益処分額							
1 配当金		100,750		97,959		2,791	
2 役員賞与金		16,000		15,000		1,000	
(うち監査役賞与金)		(1,500)		(1,300)		(200)	
3 任意積立金							
別途積立金		940,000	1,056,750	150,000	262,959	790,000	793,791
次期繰越利益			110,706		115,022		4,316

⁽注)平成17年12月5日に1株につき14円、総額91,151,116円の中間配当を実施いたしました。

		V NV	No to the North American
	項目	前事業年度 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日)	当事業年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)
1	有価証券の評価基準及	売買目的有価証券	売買目的有価証券
	び評価方法	時価法(売却原価は移動平均法によ	同左
		り算定)によっております。	
		その他有価証券	その他有価証券
		時価のあるもの	時価のあるもの
		事業年度末の市場価格等に基づ	同左
		く時価法(評価差額は、全部資本	
		直入法により処理し、売却原価は	
		移動平均法により算定)によって おります。	
		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	時価のないもの
		移動平均法による原価法によって	同左
		おります。	132
		子会社株式及び関連会社株式	子会社株式及び関連会社株式
		移動平均法による原価法によっ	同左
		ております。	
2	たな卸資産の評価基準	仕掛品	仕掛品
	及び評価方法	個別法による原価法によっておりま	同左
3	田字姿をの述価償却の	す。 (4) 有形田字姿音	 (1) 有形固定資産
3	固定資産の減価償却の 方法	(1) 有形固定資産 定率法によっております。	(!) 有形回足員度 定率法によっております。
	7374	ただし、平成10年4月1日以	ただし、平成10年4月1日以
		降に取得した建物(建物附属設	降に取得した建物(建物附属設
		備を除く)については定額法に	備を除く)については定額法に
		よっております。	よっております。
		なお、主な耐用年数は以下の	なお、主な耐用年数は以下の
		とおりであります。	とおりであります。
		建物 3~30年	建物 3~39年
		工具器具備品 4~20年	工具器具備品 4~20年
		(2) 無形固定資産 定額法によっております。	(2) 無形固定資産 定額法によっております。
		た額法によりであります。 ただし、ソフトウェア(自社利	ただし、ソフトウェアについて
		用)は社内における利用可能期	は、自社利用のソフトウェアは
		間(5年)に基づく定額法によ	社内における利用可能期間(5
		っております。	年)に基づく定額法、市場販売
			目的のソフトウェアは販売可能
			有効期間(3年)に基づく定額法
		(2) 医蜘蛛状 弗里	によっております。
		(3) 長期前払費用 定額法によっております。	(3) 長期前払費用
4	引当金の計上基準		同左 (1) 貸倒引当金
-	リコガムリナホナ	(') 負倒ガヨ並 債権の貸倒れによる損失に備	
		えるため、一般債権について	
		は貸倒実績率により、貸倒懸	
		念債権等特定の債権について	
		は個別に回収可能性を検討	
		し、回収不能見込額を計上し	
		│ ております。 │ (2) 賞⊨引坐会	(2) 當戶引业令
		(2) 賞与引当金 従業員に対する賞与の支給に	(2) 賞与引当金 同左
		従業員に対する員与の支給に 充てるため、当社所定の計算	川生
		方法による支給見積額の当期	
		負担額を計上しております。	
			1

	前事業年度	当事業年度
項目	(自 平成16年4月1日	(自 平成17年4月1日
4 7114 4 6 5 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	至 平成17年3月31日)	至 平成18年3月31日)
4 引当金の計上基準	(3) 退職給付引当金	(3) 退職給付引当金
	従業員の退職給付に備えるた	従業員の退職給付に備えるた
	め、当事業年度末における退	め、当事業年度末における退
	職給付債務及び年金資産の見	職給付債務及び年金資産の見
	込額に基づき、当事業年度末	込額に基づき、当事業年度末
	において発生していると認め	において発生していると認め
	られる額を計上しておりま	られる額を計上しておりま
	す。	す 。
	なお、会計基準変更時差異	数理計算上の差異について
	(70,190千円)については5年	は、各事業年度の発生時の従
	による按分額を特別損失に計	業員の平均残存勤務期間以内
	上しております。	の一定の年数(5年)による按
	数理計算上の差異について	分額をそれぞれ発生の翌事業
	は、各事業年度の発生時の従	年度より費用処理しておりま
	業員の平均残存勤務期間以内	す。
	の一定の年数(5年)による按	
	分額をそれぞれ発生の翌事業	
	年度より費用処理しておりま	
	す。	
	(4) 役員退職慰労引当金	(4) 役員退職慰労引当金
	役員の退職慰労金の支出に備	同左
	えるため、内規に基づく期末	
	要支給額を計上しておりま	
	す。なお、この引当金は商法	
	施行規則第43条に規定する引	
	当金であります。	
5 リース取引の処理方法	リース物件の所有権が借主に移転す	同左
	ると認められるもの以外のファイナン	
	ス・リース取引については、通常の賃	
	貸借取引に係る方法に準じた会計処理	
	を行っております。	
6 その他財務諸表作成の	消費税等の会計処理	消費税等の会計処理
ための重要な事項	消費税及び地方消費税の会計処理	同左
	は、税抜方式を採用しております。	1 3
	, 1703/775-7-27/7/13-0-4-07-7-04-7-0	

会計処理の変更

前事業年度 (自 平成16年4月1日	当事業年度 (自 平成17年4月1日
至 平成17年3月31日)	至 平成18年3月31日)
固定資産の減損に係る会計基準(「固定資産の減損	
に係る会計基準の設定に関する意見書」(企業会計審	
議会 平成14年8月9日))及び「固定資産の減損に	
係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第	
6号 平成15年10月31日)が平成16年3月31日に終了	
する事業年度に係る財務諸表から適用できることにな	
ったことに伴い、当事業年度から同基準及び同適用指	
針を適用しております。これにより税引前当期純利益	
は42,450千円減少しております。なお、減損損失額に	
ついては当該各資産の金額より直接控除しておりま	
す。	

前事業年度 平成16年4月1日 (自 平成17年3月31日)

理費に計上しております。

「地方税法等の一部を改正する法律」(平成15年法律 第9号)が平成15年3月31日に公布され、平成16年4月 1日以後に開始する事業年度より外形標準課税制度が 導入されたことに伴い、当事業年度から「法人事業税 における外形標準課税部分の損益計算書上の表示につ いての実務上の取扱い」(平成16年2月13日 企業会計 基準委員会 実務対応報告第12号)に従い法人事業税の 付加価値割及び資本割については、販売費及び一般管

この結果、販売費及び一般管理費が34,583千円増加 し、営業利益、経常利益及び税引前当期純利益が、そ れぞれ同額減少しております。

当事業年度 平成17年4月1日 (自 至 平成18年3月31日)

(取次ぎ取引に関する会計処理)

「ソフトウェア取引の収益の会計処理に関する実務 上の取扱い」(平成18年3月30日 企業会計基準委員 会実務対応報告第17号)に基づき、顧客からの外注先 指定に伴う取次ぎ取引につきましては、従来、当該顧 客との取引高を売上高に、それに係る外注費の支払い を売上原価に計上する両建て処理にて会計処理を行っ ておりましたが、当該取引につきましては、純額処理 が企業活動の実態をより合理的に表すものであるた め、当事業年度より利益相当分を売上高に計上する方 法に変更いたしました。

この変更により、売上高及び売上原価はそれぞれ 839,736千円減少しましたが、売上総利益に与える影響 はありません。

注記事項

(貸借対照表関係)

前事業年度 (平成17年 3 月31日)	当事業年度 (平成18年 3 月31日)
1 有形固定資産の減価償却累計額	1 有形固定資産の減価償却累計額
429,198千円	479,916千円
	2 消費貸借契約により貸し付けている株式が「投資 有価証券」に685,000千円含まれております。

(損益計算書関係)

(自 平成	業年度 16年 4 月 1 日 17年 3 月31日)	(自 至	当事業年度 平成17年 4 月 1 日 平成18年 3 月31日)
1 当事業年度において	て、以下の資産グループにつ		
いて減損損失を計上し	ております。		
場所用途種類	減損損失額		
沖縄県 建物中頭郡 賃貸	4,025千円		
中頭郡 賃貸 土地	38,424千円		
合 計	42,450千円		
当社は、固定資産を貸	賃貸に供して <mark>いる固定資産に</mark>		
ついては物件ごとに、そ	それ以外の固定資産について		
は各事業部門別に把握し	」たうえで地域ごとにグル ー		
プ化し、減損会計を適用]しております。		
上記の土地等につきましては、時価が帳簿価額に			
対して著しく下落しているため、当事業年度におい			
て帳簿価額を回収可能限度額まで減額し、当該減少			
額を減損損失(42,450千円)として特別損失に計上			
いたしました。なお、当資産グループの回収可能額			
は使用価値により測定しており、将来キャッシュ・			
フローを3%で割引いて算定しております。			

(リース取引関係)

前事業年度 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日)	当事業年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)
1 リース物件の所有権が借主に移転すると認められる もの以外のファイナンス・リース取引(借主側) 支払リース料(減価償却費相当額) 支払リース料 2,160千円 (減価償却費相当額) (注)減価償却費相当額は、リース期間を耐用 年数とし、残存価額を零とする定額法に より算定しております。	
2 オペレーティング・リース取引 (借主側)1年以内2,524千円 2,189 計	オペレーティング・リース取引 (借主側) 1年以内 2,189千円 1年超 - 計 2,189千円

(有価証券関係)

前事業年度(平成17年3月31日)

子会社株式及び関連会社株式で時価のあるものはありません。

当事業年度(平成18年3月31日)

子会社株式及び関連会社株式で時価のあるものはありません。

(税効果会計関係)

前事業年度 (平成17年3月31日)	当事業年度 (平成18年 3 月31日)
1 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別	1 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別
の内訳	の内訳
(繰延税金資産)	(繰延税金資産)
(1)流動資産	(1)流動資産
賞与引当金損金算入限度超過額 136,978千円	賞与引当金損金算入限度超過額 131,207千円
未払事業税否認 29,824	賞与引当金に係る法定福利費 12,758
その他 35,114	台 祕
計 201,917千円	その他 14,918
(2)固定資産	繰延税金負債(流動)との相殺5,347
· 役員退職慰労引当金否認 57,581千円	計 153,537千円
一括償却資産損金算入限 14,370	(2)固定資産
	役員退職慰労引当金否認 61,896千円
退職給付引当金損金算入 限度超過額 168,655	一括償却資産損金算入限 17,554 度超過額
会員権評価損否認 13,783	退職給付引当金損金算入 100,007
会員権貸倒引当金否認 18,450	199,997 限度超過額
投資有価証券評価損否認 96,576	会員権評価損否認 13,783
その他 36,078	会員権貸倒引当金否認 14,944
繰延税金負債(固定)との相殺 405,495	投資有価証券評価損否認 91,930
計 千円	その他 29,820
繰延税金資産合計 201,917千円	繰延税金負債(固定)との相殺429,928
	計 千円
(繰延税金負債)	繰延税金資産合計 153,537千円
固定負債	()P71 T4 () 4 / E \
プログラム等準備金 47,986千円	(繰延税金負債)
有価証券評価差額金 1,740,867	(1)流動負債
その他 30,547	未収事業税 5,347千円
繰延税金資産(固定)との相殺 405,495	繰延税金資産(流動)との相殺 計 千円
計 1,413,905千円	
繰延税金負債合計 1,413,905千円	(2)固定負債 プログラム等準備金 39,326千円
差引:繰延税金負債純額 1,211,988千円	プログラム等準備金 39,326千円 有価証券評価差額金 1,460,051
	その他 35,929 繰延税金資産(固定)との相殺 429,928
	編述代金貨性(回足)との指板 <u>429,926</u> 計 1,105,379千円
	編延税金負債合計 1,105,379千円 4,105,379千円
	無処税並負債占司 (1,105,379千円)差引:繰延税金負債純額 951,841千円
	左引:綵些忧並負損網額 951,641十日
│ │ 2 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担	 2 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担
2	2
法定実効税率 41.0%	法定実効税率 41.0%
(調整)	(調整)
交際費等永久に損金に算入されない 1000 0.3	交際費等永久に損金に算入されない 1.2
住民税均等割 0.5	住民税均等割 1.6
IT投資促進税制適用による税額控除 3.7	IT投資促進税制適用による税額控除 1.6
受取配当金の益金不算入 1.1	受取配当金の益金不算人 2.3
その他 0.3	その他 1.5
税効果会計適用後の法人税等の負担率 36.7%	税効果会計適用後の法人税等の負担率 38.4%
•	

(重要な後発事象)

前事業年度 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日)		
当社は、平成18年3月9日開催の取締役会の決議 に基づき、下記のとおり子会社を設立いたしました。 子会社の概要は次の通りであります。 (1)商号 株式会社クレスコ・コミュニケーションズ (2)主要な業務内容 企業サイトのプログ化推進及びサイト監視 サービスの提供 (3)設立年月日 平成18年4月3日 (4)資本金 50,000千円 (5)持株割合 90% (6)発行済株式数	(自 平成16年4月1日	(自 平成17年4月1日
		当社は、平成18年3月9日開催の取締役会の決議に基づき、下記のとおり子会社を設立いたしました。 子会社の概要は次の通りであります。 (1)商号 株式会社クレスコ・コミュニケーションズ (2)主要な業務内容 企業サイトのプログ化推進及びサイト監視 サービスの提供 (3)設立年月日 平成18年4月3日 (4)資本金 50,000千円 (5)持株割合 90% (6)発行済株式数

役員の異動

当社は、平成18年4月24日開催の当社取締役会において、下記のとおり代表者の異動を内定しました。

なお、役員の新任・退任については平成18年6月22日の株主総会において、役員の役職の異動については同総会終了後の取締役会において正式に決定される予定です。

1. 代表者の異動予定

新役職名 氏名 旧役職名

代表取締役会長 岩崎俊雄 (現代表取締役社長)

代表取締役社長 熊澤 修一 (現 常務取締役ソリューション本部長)

(1) 異動の理由

現在、代表取締役は社長である岩崎俊雄の一名体制でありますが、経営基盤の一層の強化を図るため、 代表取締役を二名体制にすることといたしました。会長の岩崎俊雄は企業グループを含む最高経営責任者 として事業の方向性や戦略ビジョンの策定を、社長の熊澤修一は業務執行責任者として事業戦略の実行を 陣頭指揮し、共に経営革新を推進し企業価値の向上に邁進いたします。

(2) 新任代表取締役社長の略歴

氏 名 熊澤 修 一(くまざわ しゅういち)

出身地 神奈川県

生年月日 昭和31年9月30日(49歳)

最終学歴 昭和54年 3月 東海大学 工学部精密機械工学科 卒業

略 歴 昭和54年 4月 朝日ビジネスコンサルタント株式会社入社

平成 2年 4月 当社入社

平成 8年 4月 オープンシステム事業部ネットワーク技術部長

平成11年 4月 ソフトウェア事業部長兼ネットワークソリューション部長

平成14年 4月 ソリューション本部副本部長兼基盤システム統括部長

平成15年 6月 取締役ソリューション本部副本部長

平成16年 4月 取締役ソリューション本部長

平成17年 4月 常務取締役ソリューション本部長、現在に至る

2. その他の役員の異動予定

(1) 新任取締役候補

常務取締役 吉田俊博 (現社長室長) (ソリューション本部長)

取 締 役 根 元 浩 幸 (現 ソリューション本部長補佐) (ソリューション本部副本部長)

(2) 退任予定取締役

佐伯秀雄 (現取締役)

(3) 役員の昇格

常務取締役 丹羽蔵王 (現取締役総務人事本部長兼総務人事部長)

3. 就任予定日

平成18年6月22日